第３９回南部忠平記念陸上競技大会

〈　やりの持ち込みについて　〉

　下記のとおり、検査に合格して持ち込みを許可されたやりは、「預り証」を発行のうえ一括借り上げとなり、参加競技者で共有できるものとする。

今大会のやり投げについては、WRKの申請を行っています。持ち込みの「やり」については、WA及び日本陸連が承認する「やり」に限ります。（その際、証明できる書類も持参すること）

「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いもの及び、複数本無いやりに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻２時間前から招集開始時刻までに、器具庫（スタート側）にて「やり検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した「やり」については、「預り証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた「やり」は競技終了まで競技場で預かり、競技終了後に器具庫（スタート側）で返却する。なお、借り上げたやりが破損しても責任を負わない。

１　検査時間

７月５日（日）

男子・女子やり投決勝　　　９：００　～　１０：００　　競技開始１１：００

２　検査場所　競技場用器具庫（スタート側）

３　手順

①　所定の時刻までに検査（申請）場所にやりを持参する。

②　申請書を記入（予め記入したものを提出するのも可）→「預り証」を受領する。

※申請書は釧路地方陸上競技協会ＨＰ「南部記念陸上のページ」「やり検査申請書」でダウンロードしておく。

③　「合格」の場合、預かり証を受領する。借り上げたやりは競技用具と同じく配置する。

④　やりの返却について

競技終了後、器具庫にて「預り証」と引き換えに返却

混成競技に出場の場合「やり投」終了後、用器具庫にて「預り証」と引き換えに返却

<u>※借り上げたやりが破損した場合について、主催者側は一切の責任を負いません。</u>